



ストーブの保守

5. 燃料/ペトリウム内部をケーシングでクリーニングする。燃料/ペトリウムを完全に乾かし、使用頻度に応じて定期的に清掃する必要があります。燃料/ペトリウムは、長期にわたって使用される場合、その性能が低下する可能性があります。温度、湿度、使用頻度に応じて清掃する必要があります。また、長期にわたって使用される場合、その性能が低下する可能性があります。また、長期にわたって使用される場合、その性能が低下する可能性があります。また、長期にわたって使用される場合、その性能が低下する可能性があります。

6. 燃料/ペトリウムに燃料を通します。燃料/ペトリウムを再度しっかりと蓋し、ケーシングをきれいに拭き取ります。燃料/ペトリウムを再度しっかりと蓋し、ケーシングをきれいに拭き取ります。燃料/ペトリウムを再度しっかりと蓋し、ケーシングをきれいに拭き取ります。

7. ストーブを組み立てます。燃料/ペトリウム内部をクリーニングし、燃料/ペトリウムを再度しっかりと蓋し、ケーシングをきれいに拭き取ります。燃料/ペトリウムを再度しっかりと蓋し、ケーシングをきれいに拭き取ります。

8. ストーブを再度予熱する。予熱が適切でない。ストーブを再度予熱する。予熱が適切でない。ストーブを再度予熱する。

ストーブの保守

9. ストーブを再度予熱する。予熱が適切でない。ストーブを再度予熱する。予熱が適切でない。ストーブを再度予熱する。

10. ストーブを再度予熱する。予熱が適切でない。ストーブを再度予熱する。予熱が適切でない。ストーブを再度予熱する。

11. ストーブを再度予熱する。予熱が適切でない。ストーブを再度予熱する。予熱が適切でない。ストーブを再度予熱する。

12. ストーブを再度予熱する。予熱が適切でない。ストーブを再度予熱する。予熱が適切でない。ストーブを再度予熱する。

トラブルシューティング

問題	原因	処置
燃料漏れ		
ポンプと燃料ボトルの接続部	ポンプシールの損傷または欠落	ポンプシールを交換する
ポンプと燃料パイプの接続部	燃料パイプ Oリングの損傷または欠落	燃料パイプ Oリングを交換する
コントロールバルブの柄部分	コントロールバルブ Oリングの損傷または欠落	コントロールバルブ Oリングを交換する
ポンプブランチジャーチャンバー内	チェックバルブの詰まり	チェックバルブのほくほくをクリーニングする
性能の問題	原因	処置
異常な黄色い炎	予熱が適切でない	ストーブを再度予熱する
ポンプしても燃料ボトルを加圧できない	ポンプカップの損傷	ポンプカップを交換する
ブランチジャーをポンプしにくい	ポンプカップが乾いている	ポンプカップに注油する
炎が弱い	燃料ボトルの圧力が低い	ブランチジャーをポンプする
沸騰時間が遅い	ジェットあるいは燃料パイプの詰まり	ジェットをクリアし、燃料パイプをクリーニングする
高地で炎が強くなる	不適切な空気の流れ	ウインドウスクリーンを少し開く

燃料について

XGK EX™ ストーブは、2種類の取替可能なノズルを使用して、数種類の燃料を使用することができます。

- GK ジェットは、ホワイトガソリン、灯油、無鉛自動車用ガソリン、航空ガソリンに使います。このジェットは、ストーブに予め取り付けられています。
- X ジェットは、ジェット燃料と軽油に使用します。このジェットは、ストーブの部品キットに含まれています。

最適な性能を得るため、市販のホワイトガソリンを使用してください。お使いのストーブにとって最高品質の燃料です。ホワイトガソリン以外の燃料を使用すると、ストーブがすぐに目詰まりしたり、ジェットおよび燃料パイプを頻りにクリーニングしなければならない場合があります。海外旅行の際、現地ホワイトガソリンを入手する場合には、以下の燃料一覧表を参考にしてください。有鉛燃料は使用しないでください。

海外における燃料の名称に関する詳しい情報については、www.msrgear.com をご覧ください。

米国・英国・カナダ	ドイツ・スイス	日本	フランス	オランダ	スペイン
White gas/ Naphtha	Kocherbenzin/ Reinbenzin	ホワイトガソリン	Pétrole à brûler/ Essence C	Wasbenzine	Bencina blanca
Kerosene	Petroleum Kerosin	灯油	Pétrole	Petroleum Lampolie	Parafina
Unleaded auto gas	Autobenzin	ガソリン	Essence sans plomb	Benzine	Gasolina sin plomo
Diesel	Diesel	軽油	Diesel	Diesel	Diesel

危険

一酸化炭素、火災、爆発の危険

このストーブと燃料の使用により、重大な危険が生じる場合があります。失火や爆発、誤用により、死亡事故や重度のヤケド、物的損害を引き起こす恐れがあります。使用者には、自分自身の安全および自分のグループの人たちの安全に対する責任があります。適切な判断を行ってください。

このストーブは屋外専用です。テント内、出入口、車内、屋内、換気の悪い場所では、ストーブを絶対に使用しないでください。このストーブは酸素を消費し、有毒で無臭の一酸化炭素ガスが発生します。このストーブは、近くにある可燃物や引火性液体・蒸気を容易に引火させます。密閉された場所でこのストーブを使用すると、死亡や重大なヤケドに至る危険性があります。

ストーブや燃料ボトルは、他の熱源の近くに保管しないでください。直径 25 cm 以上の Outback Oven™ などの調理器具を使用しないでください。調理器具のサイズが大きすぎると、燃料ボトルが過熱する恐れがあります。燃料ボトルが高温にさらされると、爆発し、死亡や重大なヤケドを負う恐れがあります。

小児がこのストーブを絶対使用させないでください。小児はストーブや調理場所から 3 m 以上離し、常に目を離さないようにしてください。

本ストーブを使用する前に必ずこの取扱説明書の指示と警告をすべて読んで充分理解し、それに従ってください。これらの警告および手順に従わなかった場合、死亡や重度のヤケド、物的損害に至る危険性があります。

警告

以下の場合、ストーブを使用しないでください。(1) この取扱説明書をすべて読み、完全に内容を理解する前、(2) 燃焼しているストーブ、または熱いストーブを取り扱うことに対して、まだ慣れていなくて不安な場合、(3) 燃料が漏れているのを発見した場合、(4) ストーブあるいはその周囲に直火器具の操作を危険にする要因を発見した場合。これらの指示に従わなかった場合、火災、ヤケド、重度の怪我、死亡に至る危険が発生する恐れがあります。

このストーブは野外（テントなどの密閉された空間ではない）で、水を沸騰させたり、調理をするために設計されています。それ以外の目的では使用しないでください。密閉された空間でストーブを使用したり、水を沸騰させたり調理をする目的以外で使用すると、火災、ヤケド、重度の怪我、死亡事故に至る恐れがあります。

このストーブは、取扱説明書に記載された範囲外の分解を行わないでください。ストーブを改造しないでください。この取扱説明書の指示に一致しない方法でのストーブの分解または改造は、保証を無効にし、火災、ヤケド、重度の怪我、死亡事故などが起きる危険な状況を引き起こす恐れがあります。

部品が欠けていたり破損している場合や専用交換部品以外が使用されている場合は、ストーブを使用しないでください。部品が欠けていたり破損している状態や専用交換部品以外が使用されている状態でストーブを使用すると、火災、ヤケド、重度の怪我、死亡事故などが起きる危険な状況になる恐れがあります。

ストーブは、常に表面が平らで安定した場所で使用し、転倒や中身がこぼれないようにします。ストーブが転倒すると、火災、ヤケド、重度の怪我、死亡事故を引き起こす危険な状況になる恐れがあります。

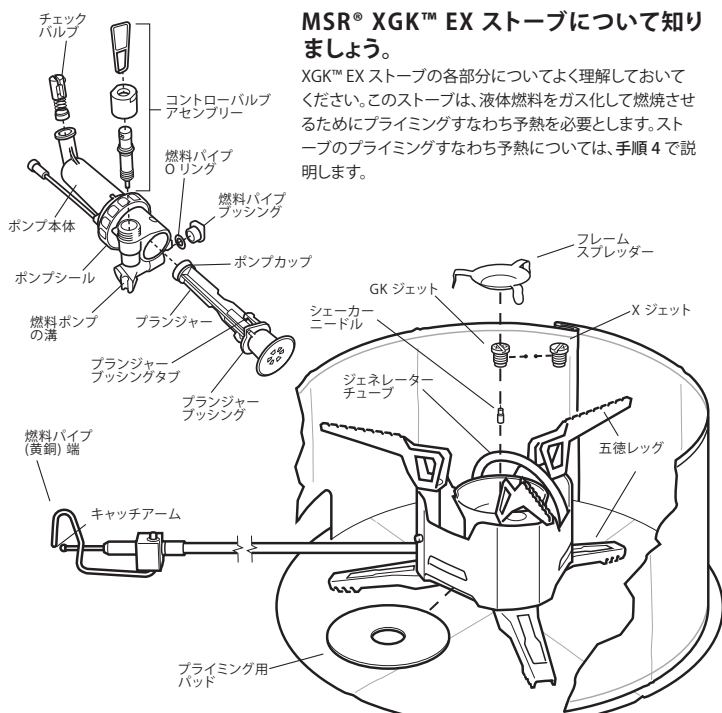
カスケードデザイン社では、適切なサイズの MSR® ブランドの調理器具の使用のみを保証します。MSR® ブランド以外の調理器具の使用に関しては、利用者自身の責任と判断において使用してください。

屋外使用のみ

製品サービスおよび情報に関するお問い合わせ先
Cascade Designs, Inc.
 4000 First Avenue South, Seattle, WA 98134 U.S.A.
 TEL: 800.531.9531 または 206.505.9500
 www.msrgear.com ART# 119324-3 | JP

取扱説明書

XGK™ EX



MSR® XGK™ EX ストープについて知りましょう。

XGK™ EX ストープの各部分についてよく理解しておいてください。このストープは、液体燃料をガス化して燃焼させるためにプライミングすなわち予熱を必要とします。ストープのプライミングすなわち予熱については、手順 4 で説明します。

警告

以下の場合、ストープを使用しないでください。(1) この取扱説明書をすべて読み、完全に内容を理解する前、(2) 燃焼しているストープ、または熱いストープを取り扱うことに対して、まだ慣れていなくて不安な場合、(3) 燃料が漏れているのを発見した場合、(4) ストープあるいはその周囲に直火器具の操作を危険にする要因を発見した場合。これらの指示に従わなかった場合、火災、ヤケド、重度の怪我、死亡に至る危険が発生する恐れがあります。

XGK™ EX ストープ操作手順

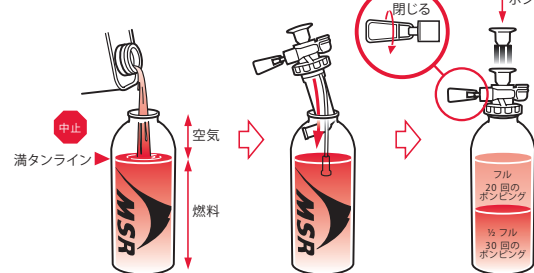
死亡事故や重大なヤケドを避けるため、本ストープを使用する前に必ずこの取扱説明書の指示と警告をすべて読んで充分理解し、それに従ってください。

1 燃料ボトルの準備

XGK EX ストープには、様々な燃料が使用できるよう交換可能なジェットが 2 本用意されています。使用する燃料の種類に合ったジェットを使用するために、「燃料について」をご覧ください。

1. 燃料ボトルの満タンラインを超えないでください。燃料膨張のために、空気スペースが必要です。
2. 燃料ボトルにポンプを挿入し、しっかりと締めます。
3. コントロールバルブを閉じ、プランジャーをポンプします (20~30 回)。

燃料ボトルの中身が少ない場合、ポンプ回数をさらに多くして加圧する必要があります。しっかりと抵抗が感じられるまでポンプします。

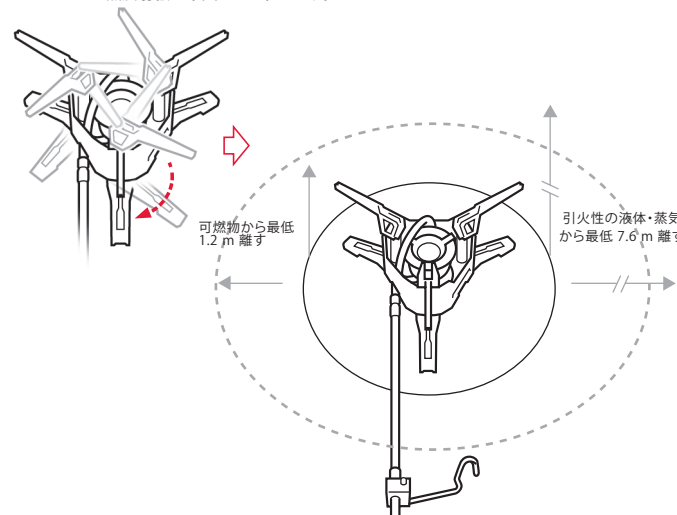


警告

燃料ボトルは、MSR® 燃料ボトル以外使用しないでください。MSR® 燃料ボトル以外を使用すると燃料漏れが発生し、火災、ヤケド、重度の怪我、死亡事故に至る危険が発生する恐れがあります。ストープや燃料のそばに小児を近づけないでください。カスケードデザイン社では、3 m 以上遠ざけることをお奨めします。燃焼しているストープや熱いストープから目を離さないでください。ストープを放置すると、火災になる恐れがあり、小児、ペット、ストープに気が付かない人が、ヤケドや怪我をしたり死亡事故に至る場合があります。氷点下の状態でストープを使用する場合は、細心の注意を払ってください。氷点下では、O リングが硬くなり、燃料が漏れる可能性があります。燃料ボトルの加圧およびプライミングの前、ストープに点火後は、燃料が漏れていないか常に確認してください。燃料漏れを起こしているストープを使用すると、火災、ヤケド、重度の怪我、死亡事故を引き起こす恐れがあります。

2 ストープのセットアップ

1. 五徳レグを回します。
2. ストープを熱反射板の中央の上に置きます。

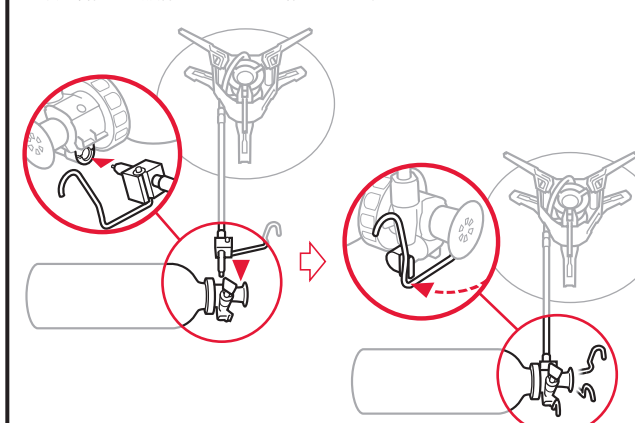


警告

可燃物は、燃焼しているストープや点火しようとしているストープの上部および周辺から少なくとも 1.2 m 離してください。引火性液体や可燃性蒸気は、燃焼しているストープや点火しようとしているストープの上部および周辺から少なくとも 7.6 m 離してください。このストープは、可燃物、引火性液体、可燃性蒸気を引火させることがあり、火災、ヤケド、重度の怪我、死亡事故に至るような状況を引き起こします。このストープは野外 (テントなどの密閉された空間ではない) で、水を沸騰させたり、調理をするために設計されています。それ以外の目的では使用しないでください。密閉された空間でストープを使用したり、水を沸騰させたり調理をする目的以外で使用すると、火災、ヤケド、重度の怪我、死亡事故に至る恐れがあります。

3 ストープとポンプの接続

1. 燃料パイプをポンプに差し込みます。コントロールバルブが上向きになるよう燃料ボトルを横向きにします。
2. キャッチアームを燃料ポンプの溝にしっかりと固定します。安全確保のため、燃料パイプをまっすぐに保ってください。

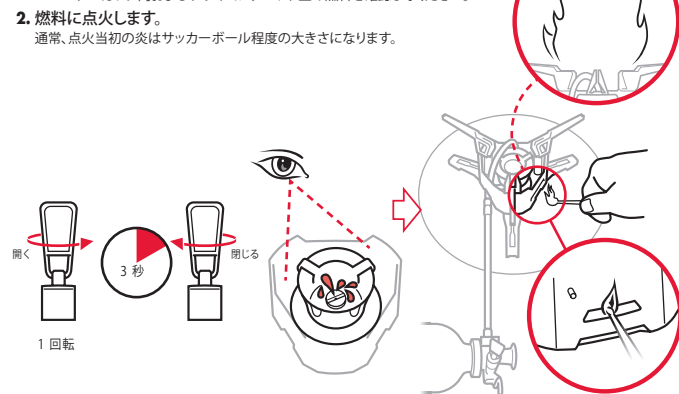


警告

ご使用の度に、燃料ボトル、ポンプ、燃料パイプ、バーナー、ストープの下、ストープの周囲に燃料が付着していないことを確認してください。燃料が付着していたり、燃料臭がある場合は、ストープに点火しないでください。トラブルシューティングをご覧ください。燃料漏れたことがある状態あるいは燃料漏れが起きている状態でストープを使用すると、燃料に引火し、火災、ヤケド、重度の怪我、死亡事故が起きる恐れがあります。ストープの使用時やストープがまだ熱い時、あるいは埋火の近くでは、燃料パイプ、ポンプ、燃料ボトルを決して外さないでください。コントロールバルブが開いている時 (燃料が流れている時)、燃料パイプ、ポンプ、燃料ボトルを決して外さないでください。ストープの使用時やストープがまだ熱い時あるいは埋火の近く、あるいはコントロールバルブが開いている時 (燃料が流れている時)、燃料パイプ、ポンプ、燃料ボトルを決して、火災、ヤケド、重度の怪我、死亡事故などの原因となる場合があります。

4 ストープの予熱

1. スプーン 1/2 杯分の燃料を出します。コントロールバルブを 1 回転開き、燃料を 3 秒間流します。コントロールバルブを閉じます。バーナーカップ内およびプライミングパッド上の燃料を確認してください。
2. 燃料に点火します。通常、点火当初の炎はサッカーボール程度の大きさになります。

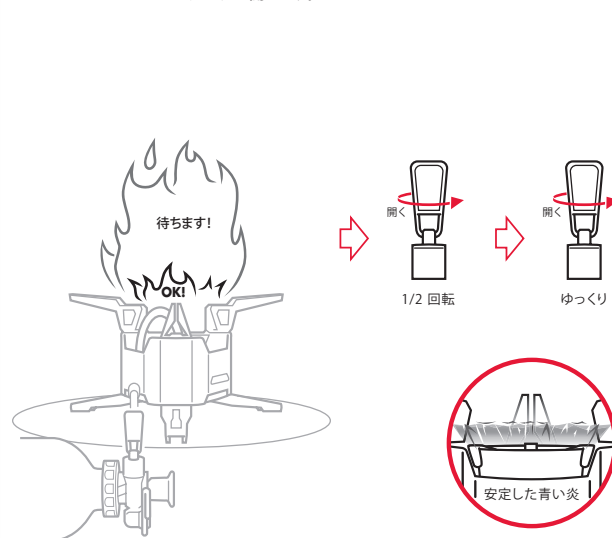


警告

ストープの予熱中、点火中、燃焼中は、頭や体がストープの上に来ないようにしてください。ストープは直火なので、頭や体をストープの上に乗せることは、火災、ヤケド、重度の怪我、死亡事故を引き起こす可能性のある危険な行為です。予熱には、燃料を使用し過ぎないでください。予熱に余分の燃料を使用すると、燃料漏れや燃料がこぼれる原因となり、火災、ヤケド、重度の怪我、死亡事故が起きる恐れがあります。

5 ストープの点火

1. 予熱の炎が小さくなるまで待ちます。
2. 1/2 回転まわしてバルブを開き、青く安定した炎になるまで待ちます。
3. コントロールバルブをゆっくりと開きます。

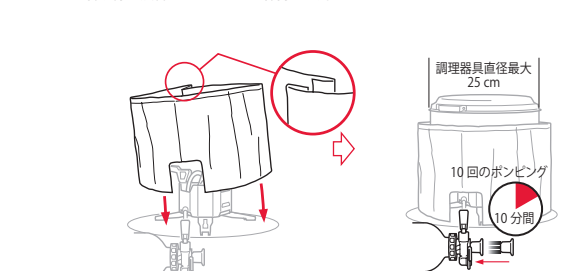


警告

ストープが冷めきっていない状態で点火しないでください。再度点火するには、火が消えてから最低 5 分間冷まします。ストープの温度が高い状態で再点火すると、大きな炎が発生し、火災、ヤケド、重度の怪我、死亡事故を引き起こす恐れがあります。熱いストープや燃焼中のストープを移動しないでください。移動する前には、ストープの火を消してから必ず最低 5 分間冷まします。熱いストープや燃焼中のストープを移動すると、火災、ヤケド、重度の怪我、死亡事故を引き起こす恐れがあります。

6 調理目的でのストープの使用

1. ウィンドスクリーンをセットアップします。ウィンドスクリーンの端を合わせます。最適な性能を得るため、ウィンドスクリーンと調理器具の間に、2.5 cm の隙間を残します。ウィンドスクリーンの使用により、あらゆる条件下で性能が向上します。
2. ストープ上に鍋を置きます。
3. 燃料ボトルの圧力を維持します。圧力を維持するため、10 分毎に約 10 回ポンプを押します。ポンプを押す際は燃料ボトルをしっかりと保持します。



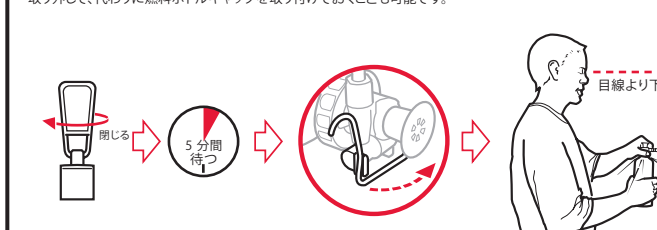
警告

燃料ボトルは、ストープバーナーやその他の熱源に近づけないでください。燃料ボトルは、できるだけバーナーから離れるように接続します。燃料ボトルをバーナーなどの熱源の近くで使用すると、燃料ボトルが爆発し、火災、ヤケド、重度の怪我、死亡事故を引き起こす恐れがあります。ウィンドスクリーンは、決して燃料ボトルの周りに置かないでください。直径 25 cm 以上の調理器具を使用しないでください。2 つ以上のストープを並べて同時に使用しないでください。空の鍋あるいは液体の入っていない鍋でストープを使用しないでください。MSR® 以外の熱反射板やデフューザーを使用しないでください。ストープを間違った方法で使用すると、燃料ボトルが爆発し、火災、ヤケド、重度の怪我、死亡事故に至る場合があります。本ストープ、特に五徳に不適なサイズの調理器具や不適切な調理器具を使用しないでください (例: 凸型または凹型の底の調理器具、ホーロー調理器具など)。不適なサイズの調理器具や不適切な調理器具でストープを使用すると、調理器具やストープが不安定になります。熱い調理器具が倒れたり、その中身がこぼれると、火災、ヤケド、重度の怪我、死亡事故を引き起こす恐れがあります。カスケードデザイン社では、適切なサイズの MSR® ブランドの調理器具の使用のみを保証します。MSR® ブランド以外の調理器具の使用に関しては、利用者自身の責任と判断において使用してください。

7 ストープの消火

1. コントロールバルブを閉じます。燃料パイプに残った燃料が燃え尽きるまで、ストープは小さな炎で燃焼を続けます。
2. フレームアジャスターバルブを閉じます。炎が消えた後、ストープが冷めるまで 5 分間待ってください。
3. キャッチアームのロックを外して、ポンプから燃料パイプを取り外します。
4. 燃料ボトルを減圧してから、ストープを収納します。燃料ボトルを顔や熱源、引火源から離し、直立させた状態で保持します。ゆっくりとポンプのネジをゆるめて、燃料ボトルを減圧します。

燃料ボトルを運搬したり保管する場合、ポンプは減圧された燃料ボトル内に入れて置くことができます。ポンプを取り外して、代わりに燃料ボトルキャップを取り付けておくこともできます。



警告

燃料ボトルは、必ず小児の手の届かない場所にしっかりとキャップを締めた状態で保管してください。キャップが緩んだ状態や小児の手の届く場所に燃料ボトルを保管すると、誤って小児が燃料ボトルに触れ燃料をこぼしたり吸引したりという事故を引き起こす恐れがあります。燃料ボトルの中身の燃料を吸引すると、中毒、重度の障害、死亡事故などの原因となる場合があります。燃料ボトルは、常に換気の良いところに保管し、熱源や引火源になるような以下の場所から離します。温水器、ガスレンジ、口火、暖房装置。燃料ボトルを熱源や引火源の近くに保管すると、燃料ボトルが爆発し、火災、ヤケド、重度の怪我、死亡事故を引き起こす恐れがあります。